

第6次鶴田町総合計画（案）について
【町民意見等の募集（パブリックコメント）結果の概要】

1. 趣旨

第6次鶴田町総合計画策定に当たり、計画（素案）に対して、広く町民からご意見等を募集する。

2. 募集期間

令和5年6月8日（木）から令和5年6月28日（水）まで

3. 募集方法

書面、電子メール

4. 公表方法

町ホームページ、閲覧

5. 閲覧場所（意見用紙配布窓口）

企画観光課まちづくり班窓口、町ホームページ

6. 募集結果

（1）意見等提出者数 3人（電子メール3人）

（2）意見等の件数 13件

7. 意見等に対する町の考え方

（1）対応区分結果一覧

区分	対 応 内 容	件数
1	計画（素案）を修正する。	0
2	計画（素案）は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。	3
3	計画（素案）に盛り込まれていないが、検討の結果、修正しない。	6
4	計画（素案）に盛り込まれており、修正しない。	4
5	その他（質問への回答、状況説明など）	0

(2) 各意見等に対する町の考え方

区分	意見内容	町の考え方
4	<p>鶴田町には魅力ある場所や人がたくさんあると思います。 過疎地域にはなりましたが11,874人も町民がいます。魅力ある場所は維持しつつ、新しい取り組みをして場所に人が訪れることも大切だと思います。田舎の地域での工場誘致の他、企業誘致をすることで人口増加を図れるかと思っています。</p>	<p>P18「商工業事業者の経営基盤強化の推進」目指す姿として、「企業を誘致することにより、人財確保に繋げ活力あるまちを目指します。」そのほか、施策等で対応しています。</p>
2	<p>しかし他から人をよんでくるのではそもそもの日本の人口減少を止める施策にはならないと思います。日本の課題にも向き合う取り組みをすることで鶴田町が他市町村、他県からも注目される地域になってくれれば良いと思っています。鶴田町で生まれ鶴田町で生きていく人、一度県外や海外に出たとしてもまた戻ってきたいと思う魅力ある町であり続けるための魅力というのは、場所だけではなく、人という魅力も大切にしていければと思います。</p>	<p>P22「住みたいと思ってもらえる施策の推進」目指す姿として、「移住先として多くの人に選んでもらう魅力あふれるまちを目指します。」そのほか、施策等で対応しています。</p>
4	<p>人を大切にする町、こういったパブリックコメント等を通してでも一人ひとりの町民の声に耳を傾け、一つ一つの声に誠意をもって対応していくことこそが人が住みたいと思う町づくりになるのだと思います。 人が輝ける町、輝く人を訪れる観光客を増やすことで鶴田町の発展にも繋がるのだと思います。 私自身も微力ではありますがこれからは鶴田町で暮らす、働く人々が生きやすい街になるよう創業しましたので、町のお力になれるよう頑張りたいと思います！</p>	<p>P20「鶴の舞橋を主とした観光の推進」目指す姿として、「だれもが訪れたいくなるような鶴の舞橋を目指します。」そのほか、施策等で対応しています。 P50「町民主役・協働の推進」目指す姿として、各項目で対応しています。</p>
3	<p>【1】女性の活躍について ・総合計画における割合に対し、「女性の活躍」「男女共同参画」の比率が低いと感じます。子育ては地域全体で受け止める必要があり、そのためには女性の意見を吸い上げる仕組みが不可欠です。しかし今のところ町議会議員の男女比率を始め、女性の意見が反映されるためのベースづくりが圧倒的に遅れていると感じます。例えば「今後10年間で町議会議員の女性比率を30%以上にする」など、具体的な目標設定が大切だと思います。目標を掲げることにより町民の意識も変わります。小規模な町だからこそ実現可能だと考えます。</p>	<p>近年では性的マイノリティーやジェンダー平等など表現が多様化しているため、第6次総合計画では「女性」や「男女」といった表現を意識的に「みんなが」とか「だれもが」で表現し、作成しています。</p>
2	<p>【2】農業人口減少、農地の減少への対策について ・りんご、スチューベンを始め、町内主要農業の人手不足は危機的状況です。町内を少し車で回っただけで、耕作放棄地などが容易に見つけられる状況です。原因として農業従事者の高齢化が挙げられていますが、「高齢者の比率が上がる」＝「若年者の就農が少ない」といえます。 ・現代の若年就農者を増やすには、『収益性(将来性)』、『清潔性』、『省力化(効率化)』が大切です。言い換えれば『将来的に農業で生活していける』、『トイレや環境が綺麗』、『きつくない』という風にしていくことで、平川市のトマト農家のような新規就農増加が見込めると思います。</p>	<p>P14「人財育成と農業経営基盤の強化」目指す姿として、各項目で対応しています。</p>

区分	意見内容	町の考え方
3	<p>【3】子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当町に限らず、降雪地域の子供たちは冬の遊び場が少なく、体格的には恵まれているものの、身体能力、運動能力に低下がみられます。廃校を有効利用し、全天候型の遊戯施設・運動施設を整備することが有効だと考えます。同行保護者の集えるカフェや相談所等も備えると良いと思います。 	<p>旧水元中央小学校の利活用推進協議会で検討中</p>
4	<p>【4】「住みやすい町」を自覚できる広報活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は弘前市からの移住者ですが、当町は実はとても暮らしやすいと感じています。例えば車で10分も走れば五所川原市の大規模SCがあります。生活物品に困ることはありません。弘前市にも35分、高速道路のアクセスも悪くありません。冬期は雪対策に苦慮しますが、それを加味しても全体的に満足できる環境があります。 ・普段の暮らしでは気づかない「良さ」を町広報のコーナーや民放局のデジタル広報制度を利用して発信することが有効だと考えます。 	<p>P23「住みやすいと思ってもらえる施策の推進」施策の内容として、「町HPの改修、情報発信環境(Web、SNS、パンフレット等)の整備や町の「オモシロイ人」の発信に努め、効果的な移住情報の提供を推進します。」で対応しています。</p> <p>P49「防災・減災対策の推進」施策の内容として、「町ホームページ、メール、防災行政無線、各種SNSなどを活用し、情報伝達手段の多様化を推進します。」で対応しています。</p>
2	<p>【5】健康増進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の施設における「分煙の不徹底」が見受けられます。喫煙者の権利もありますが、分煙は現代の大きな流れです。「喫茶店」「飲食店」「事業所」など、分煙対策を徹底することが町外からの来訪者や子育て中の方々への思いやりだと考えます。分煙対策を進めて頂きたいです。 	<p>受動喫煙防止法及び健康増進法による。また、受動喫煙防止対策については、施設管理者の理解と協力のもと、積極的に進めていく。</p>
3	<p>【6】空き家対策の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内を回ると多くの廃屋や空き家がとて多くみられます。放置された空き家等は景観を損ねるだけでなく衛生的・防犯的にも問題を抱えます。子育て中の家族や今後家族が増える住民を誘致するにあたり、空き家問題の対策は喫緊の課題だと考えます。 ・空き家の担当課を決め、庁外の不動産業者等の力を借りて早急に進めていく必要があると思います。 	<p>P23「住みたいと思ってもらえる施策の推進」施策の内容として、「移住希望者に対する住宅建築・購入費に対する支援や空き家バンクの利活用推進を図り住まいの確保に努めます。」及び「空き家や未使用施設、廃校等を活用したりリモートワーク環境の整備を推進します。」で対応しています。</p> <p>空き家については、所有者の問題が殆どのため、町行政での個別対応は困難な場合が多いためです。</p>

区分	意見内容	町の考え方
3	<p>「3 商工業事業者の経営基盤強化の推進」 企業誘致のために、高騰が続いている「電気」に関して補助するなどの施策があれば良いと思います。</p>	<p>個別計画である「地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画」で検討中です。</p>
4	<p>「4 鶴の舞橋を主とした観光の推進」 トータルの経済効果は（実際の買い物のほか、交通手段、宿泊代なども含む）はインバウンドより日本人の方が高いと側聞いたします。インバウンドに依存するのではなく国内需要を喚起するような方向性が良いと思います。</p>	<p>P20「4 鶴の舞橋を主とした観光の推進」 目指す姿として、「だれもが訪れたいくなるような鶴の舞橋を目指します。」のほか、施策等に対応しています。</p>
3	<p>「4 鶴の舞橋を主とした観光の推進、5 住みたいと思ってもらえる施策の推進、11 少子化対策と子育て環境の充実、13 社会教育環境の整備など」 子育て世代で鶴田町へ移住を検討する層で「都会」を求める人は少ないと推察いたします。大事にするのは子育て環境。公園がある、子供の情操教育が可能か・・・などなど基準は「子供」。こどもをのびのびと育てられる環境を充実させていく、という切り口はいかがでしょうか。例えば、富士見湖パークの大滑り台の復活、スキー場の再活用、森のようちえんの創設（グリーンツーリズムも推進されるようなので）、図書館の設置もしくは本に身近に接する環境整備（本屋の誘致）、こどもの習い事の選択肢が多いなど。とりわけ、公園の充実子育て世代には刺さると思います。</p>	<p>個別計画で対応予定。（仮）観光振興計画や（仮）富士見湖パーク整備計画等の策定を検討する。</p>
3	<p>「10 生活環境対策」 太陽光・風力発電の利活用については慎重にお願いいたしたく。観光、農業を重要な柱にしている以上、景観の妨げとなるようなもの、太陽光パネルからの汚染水による土壌汚染、雪で破損した太陽光パネルの放置案件（処分できない）など。雪国では1年の1/4は雪により発電できないということを鑑み、設置にはしっかりした調査を行ったうえで、慎重な判断をお願いいたします。自然エネルギーを設置するよりもあえて化石燃料に再注目した企業誘致の方が（電気代を安くすることとつなげて）差別化できると考えます。</p>	<p>P33「生活環境対策」町としても景観を守りつつ、国の政策である脱炭素に向けた自然エネルギーの利活用を推進したい。化石燃料の部分については、どの様な企業等を想定しているのでしょうか。</p>